

2023年7月6日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

「金融教育に関する意識調査2023」を公表

野村アセットマネジメント株式会社(CEO兼代表取締役社長:小池広靖、以下「当社」)は、このたび、当社資産運用研究所が実施した「金融教育に関する意識調査2023」を公表しました。

今回の調査では、金融教育を受けた経験の有無、受講のきっかけや内容、今後の意向に加え、金融教育を提供している組織・人に対する認知、受講を希望する金融教育の提供者、家庭における金融教育などについてアンケートを実施しました。

調査の概要は以下のとおりです。

【調査対象】

20歳～69歳の10,664名を対象に、インターネットによる調査を2023年3月7日～10日に実施

【調査結果の要点】

- 将来に向けた資産形成のために投資を行っている人は27%
- 金融教育を受けたことのある人は14%、受けたことのない人は86%
- 初めて金融教育を受講した時期は社会に出てからが多い一方、受講すべきと考える時期は大学までに、との回答が約6割を占める
- 金融教育で学びたい内容は「資産形成(貯める・増やすこと)」が39%と高く、その具体的な内容は「投資商品の種類や仕組み」が45%、「投資に関する税制」が41%、「情報収集の方法」が38%
- 家庭での金融教育において、実際に子供・孫に教えた内容は「お金の大切さ」が31%、「お金の管理方法」が18%、一方「教えたことはない」が55%を占める

調査方法や調査結果の詳細は、当社ホームページ(「金融教育に関する意識調査2023」<http://www.nomura-am.co.jp/corporate/surveys/>)をご参照ください。

当社資産運用研究所は、今後も中立的な観点から調査、分析、報告を行うことで、資産運用・資産形成の一助となるよう、さまざまなステークホルダーの参考となる情報を提供していきます。

野村グループは、「Drive Sustainability.」というコンセプトのもと、サステナブルな社会の実現と社会的課題解決のためESG/SDGsに関連する活動を積極的に進める中で、金融経済教育の拡大にも取り組んでいます。



以上